

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2028年10月6日まで（2018年10月9日設定）	
運用方針	チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

チャイナ・
イノベーション・オープン

第10期（決算日：2023年10月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「チャイナ・イノベーション・オープン」は、去る10月20日に第10期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組入比率	株式先物比率	純資産額
		税金 分配	み 騰	期 落			
	円	円	騰	率	%	%	百万円
6期(2021年10月20日)	18,277	0	△ 7.0	91.5	—	840	
7期(2022年4月20日)	13,947	0	△23.7	92.6	—	502	
8期(2022年10月20日)	12,495	0	△10.4	90.8	—	448	
9期(2023年4月20日)	12,816	0	2.6	95.8	—	460	
10期(2023年10月20日)	11,725	0	△ 8.5	95.4	—	411	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組入比率	株式先物比率
		騰	落		
(期首) 2023年4月20日	円	12,816	—	95.8	%
4月末	11,971	△ 6.6	94.8	—	
5月末	11,458	△10.6	93.6	—	
6月末	12,121	△ 5.4	94.1	—	
7月末	12,833	0.1	94.6	—	
8月末	12,397	△ 3.3	95.3	—	
9月末	11,799	△ 7.9	95.5	—	
(期末) 2023年10月20日	11,725	△ 8.5	95.4	—	

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第10期：2023年4月21日～2023年10月20日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第10期首	12,816円
第10期末	11,725円
既払分配金	0円
騰落率	-8.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.5%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

組入銘柄である、SG MICRO CORP-Aや、BEIJING EASPRING MATERIAL-Aの株価が大幅に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第10期：2023年4月21日～2023年10月20日

投資環境について

▶ 株式市況

香港及び中国本土株式市況は下落しました。

中国当局による金融緩和や経済政策への期待が高まったことや、IT企業の事業展開の制約となっていた当局の規制に対する懸念が後退したことにより上昇する局面もありましたが、米政府が米国企業の対中投資を制限するとの観測が広まり米中関係悪化への懸念が高まったことや、経済指標の低迷を受けて中国景気の下振れ懸念が高まったこと、中国不動産市場

を巡る不安の再燃により投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に下落基調で推移しました。

▶ 為替市況

香港ドル及び中国人民幣は円に対して上昇しました。

香港ドルは、連動する米ドルに連れて円に対して大幅に上昇し、中国人民幣（オフショア）も円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ チャイナ・イノベーション・オープン

チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

▶ チャイナ・イノベーション マザーファンド

中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資し、主として中長期的な値上がり利益の獲得をめざして運用を行いました。

銘柄選定にあたっては、利用者数が10億人を超えるコミュニケーションアプリを運営するインターネット企業や、Eコ

マース事業を中心としたインターネット企業などへの重点的な投資を継続しました。

ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね30銘柄程度で推移し、期間末は27銘柄となりました。

企業業績や株価動向などを踏まえ、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。その結果、GDS HOLDINGS LTD - ADRを全売却する一方、NETEASE INCを新規購入しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第10期 2023年4月21日～2023年10月20日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	7,465

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ チャイナ・イノベーション・オープン

引き続き、チャイナ・イノベーション
マザーファンド受益証券を主要投資対象
として運用を行います。

これまでと同様、マザーファンドの組入
比率を高位に保つ方針です。

中国政府による中長期的な政策支援の恩
恵が期待できる半導体関連企業、AIな
などの新しい産業で活躍する企業、脱炭素
の取り組みによる恩恵が期待できる中国
企業に注目しています。

株式組入比率については、概ね90%以上
の水準を維持する方針です。

▶ チャイナ・イノベーション マザー ファンド

引き続き、中国の株式等を主要投資対象
とし、次の時代を創る中国のイノベー
ション企業に投資することで、主として
中長期的な値上がり益の獲得をめざして
運用を行います。

中国では、外食や旅行に対する需要が順
調に回復している一方、不動産業界の低
迷などを背景に、足元までの景気回復は
緩やかなペースにとどまっていますが、
こうした経済状況を受けた中国当局によ
る景気下支え策により、2023年後半も内
需主導の景気回復トレンドは緩やかなが
らも維持されると予想しています。株式
市況においては割安感が伺える中、中国
の景気減速および米国の金融政策や景気
動向、地政学リスクなどは引き続き懸念
材料ではあるものの、こうした経済状況
を背景にした企業業績の回復・成長に伴
い、香港株式市況および中国本土株式市
況は底堅く推移すると見込んでいます。

2023年4月21日～2023年10月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	103	0.853	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(50)	(0.413)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(50)	(0.413)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(1)	(0.011)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.006)	
(d) その他費用	7	0.061	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(0.057)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	112	0.931	

期中の平均基準価額は、12,108円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

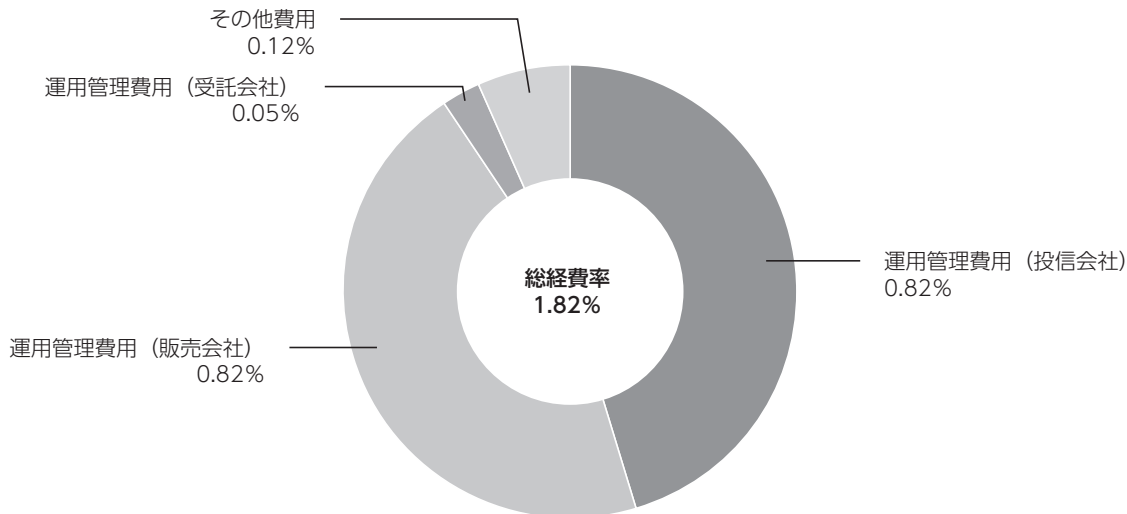
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.82%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年4月21日～2023年10月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千口 4,706	千円 6,286	千口 14,840	千円 19,525

○株式売買比率

(2023年4月21日～2023年10月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	チャイナ・イノベーション マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	29,614千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	407,037千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.07	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月21日～2023年10月20日)

利害関係人との取引状況

<チャイナ・イノベーション・オープン>

該当事項はございません。

<チャイナ・イノベーション マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 9	百万円 5	% 55.6

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年4月21日～2023年10月20日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 240	百万円 —	百万円 —	百万円 240	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2023年10月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千口 329,410	千口 319,276	千円 407,460

○投資信託財産の構成

(2023年10月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
チャイナ・イノベーション マザーファンド	千円 407,460	% 98.1
コール・ローン等、その他	7,935	1.9
投資信託財産総額	415,395	100.0

(注) チャイナ・イノベーション マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（404,323千円）の投資信託財産総額（407,451千円）に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=149.96円	1 香港ドル=19.17円	1 オフショア元=20.4401円
------------------	---------------	-------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年10月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	415,395,297
コール・ローン等	7,934,321
チャイナ・イノベーション マザーファンド(評価額)	407,460,976
(B) 負債	3,813,011
未払解約金	129,260
未払信託報酬	3,676,454
未払利息	2
その他未払費用	7,295
(C) 純資産総額(A-B)	411,582,286
元本	351,037,554
次期繰越損益金	60,544,732
(D) 受益権総口数	351,037,554口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,725円

<注記事項>

- ①期首元本額 359,526,929円
 期中追加設定元本額 14,153,282円
 期中一部解約元本額 22,642,657円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1725円です。

○損益の状況 (2023年4月21日～2023年10月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,784
受取利息	41
支払利息	△ 1,825
(B) 有価証券売買損益	△ 33,862,937
売買益	1,374,451
売買損	△ 35,237,388
(C) 信託報酬等	△ 3,683,749
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 37,548,470
(E) 前期繰越損益金	△ 112,829,129
(F) 追加信託差損益金	210,922,331
(配当等相当額)	(183,870,374)
(売買損益相当額)	(27,051,957)
(G) 計(D+E+F)	60,544,732
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	60,544,732
追加信託差損益金	210,922,331
(配当等相当額)	(183,900,624)
(売買損益相当額)	(27,021,707)
分配準備積立金	78,149,403
繰越損益金	△ 228,527,002

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2023年4月21日～ 2023年10月20日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	183,900,624円
分配準備積立金額	78,149,403円
当ファンドの分配対象収益額	262,050,027円
1万口当たり収益分配対象額	7,465円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)

チャイナ・イノベーション マザーファンド

《第10期》決算日2023年10月20日

[計算期間：2023年4月21日～2023年10月20日]

「チャイナ・イノベーション マザーファンド」は、10月20日に第10期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として中国の企業の株式等に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。 株式等への投資にあたっては、次の時代を創るイノベーションを見極め、未来をけん引する銘柄を選定します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 総 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
6期(2021年10月20日)	19,331	△ 6.3		92.4	—	831
7期(2022年4月20日)	14,833	△23.3		93.5	—	497
8期(2022年10月20日)	13,384	△ 9.8		91.8	—	444
9期(2023年4月20日)	13,845	3.4		96.8	—	456
10期(2023年10月20日)	12,762	△ 7.8		96.4	—	407

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		株組入比率	株式先物比率
			円	騰落率		
	(期首)					
	2023年	4月20日	13,845	—	96.8	—
	4月末		12,928	△ 6.6	95.7	—
	5月末		12,387	△10.5	94.5	—
	6月末		13,130	△ 5.2	95.0	—
	7月末		13,929	0.6	95.5	—
	8月末		13,470	△ 2.7	96.2	—
	9月末		12,831	△ 7.3	96.5	—
	(期末)					
	2023年	10月20日	12,762	△ 7.8	96.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

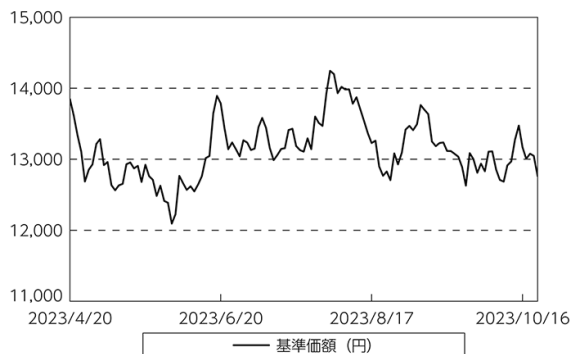
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ7.8%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

組入銘柄である、SG MICRO CORP-Aや、BEIJING EASPRING MATERIAL-Aの株価が大幅に下落したことが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

・香港及び中国本土株式市況は下落しました。
中国当局による金融緩和や経済政策への期待が高まったことや、IT企業の事業展開の制約となっていた当局の規制に対する懸念が後退したことにより上昇する局面もありましたが、米政府が米国企業の対中投資を制限するとの観測が広まり米中関係悪化への懸念が高まったことや、経済指標の低迷を受けて中国景気の下振れ懸念が高まったこと、中国不動産市場を巡る不安の再燃により投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に下落基調で推移しました。

◎為替市況

- ・香港ドル及び中国人民元は円に対して上昇しました。
香港ドルは、連動する米ドルに連れて円に対して大幅に上昇し、中国人民元（オフショア）も円に対して上昇しました。
- 当該投資信託のポートフォリオについて
- ・中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資し、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。
- ・銘柄選定にあたっては、利用者数が10億人を超えるコミュニケーションアプリを運営するインターネット企業や、Eコマース事業を中心としたインターネット企業などへの重点的な投資を継続しました。
- ・ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね30銘柄程度で推移し、期間末は27銘柄となりました。
- ・企業業績や株価動向などを踏まえ、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。その結果、GDS HOLDINGS LTD - ADRを全売却する一方、NETEASE INCを新規購入しました。

○今後の運用方針

- ・引き続き、中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資することで、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。
- ・中国では、外食や旅行に対する需要が順調に回復している一方、不動産業界の低迷などを背景に、足元までの景気回復は緩やかなペースにとどまっていますが、こうした経済状況を受けた中国当局による景気下支え策により、2023年後半も内需主導の景気回復トレンドは緩やかながらも維持されると予想しています。株式市況においては割安感が伺える中、中国の景気減速および米国の金融政策や景気動向、地政学リスクなどは引き続き懸念材料ではあるものの、こうした経済状況を背景にした企業業績の回復・成長に伴い、香港株式市況および中国本土株式市況は底堅く推移すると見込んでいます。
- ・中国政府による中長期的な政策支援の恩恵が期待できる半導体関連企業、AIなどの新しい産業で活躍する企業、脱炭素の取り組みによる恩恵が期待できる中国企業に注目しています。
- ・株式組入比率については、概ね90%以上の水準を維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 4 月 21 日～2023年10月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 1 (1)	% 0.011 (0.011)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	8 (8) (0)	0.060 (0.058) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	10	0.077	
期中の平均基準価額は、13,130円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2023年 4 月 21 日～2023年10月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 —	千アメリカドル —	百株 75	千アメリカドル 80
	香港	31 (-)	千香港ドル 566 (△ 4)	395	千香港ドル 221
国	中国オフショア	— (152)	千オフショア元 — (-)	16	千オフショア元 206

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年4月21日～2023年10月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	29,614千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	407,037千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.07

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月21日～2023年10月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 9	百万円 5	% 55.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年10月20日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	金額	
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
BAIDU INC - SPON ADR	6	6	72	10,837	メディア・娯楽
JD.COM INC-ADR	8	8	20	3,146	一般消費財・サービス流通・小売り
GDS HOLDINGS LTD - ADR	75	—	—	—	ソフトウェア・サービス
PDD HOLDINGS INC	13	13	138	20,834	一般消費財・サービス流通・小売り
小計	株数・金額	103	28	232	34,818
	銘柄数<比率>	4	3	—	<8.5%>
(香港)			千香港ドル		
BYD CO LTD-H	35	45	1,116	21,393	自動車・自動車部品
LI NING CO LTD	80	80	250	4,807	耐久消費財・アパレル
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	170	155	633	12,152	保険
TENCENT HOLDINGS LTD	62	62	1,805	34,610	メディア・娯楽
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	230	230	1,830	35,096	耐久消費財・アパレル
SUNNY OPTICAL TECH	31	31	202	3,880	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
XINYI SOLAR HOLDINGS LTD	380	380	207	3,970	半導体・半導体製造装置
HUA HONG SEMICONDUCTOR LTD	200	200	390	7,476	半導体・半導体製造装置
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	240	240	1,102	21,140	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GREENTOWN SERVICE GROUP CO L	380	—	—	—	不動産管理・開発
CHINA TOWER CORP LTD-H	2,320	2,320	167	3,202	電気通信サービス
MEITUAN-CLASS B	107	107	1,191	22,835	消費者サービス
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	219	219	1,733	33,228	一般消費財・サービス流通・小売り
JD.COM INC-CLASS A	18	18	180	3,450	一般消費財・サービス流通・小売り
NETEASE INC	—	21	335	6,433	メディア・娯楽
小計	株数・金額	4,473	4,109	11,146	213,679
	銘柄数<比率>	14	14	—	<52.4%>
(中国オフショア)			千オフショア元		
SHENZHEN INOVANCE TECHNOLO-A	264	264	1,683	34,406	資本財
JIANGSU HENGRUI PHARMACEUT-A	97	97	421	8,615	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEIJING EASPRING MATERIAL-A	215	215	919	18,795	資本財
IFLYTEK CO LTD - A	48	48	258	5,278	ソフトウェア・サービス
LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	103	103	263	5,391	半導体・半導体製造装置
LUXSHARE PRECISIONIndustr-A	252	252	781	15,972	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AIER EYE HOSPITAL GROUP CO-A	344	447	748	15,302	ヘルスケア機器・サービス
NAVINFO CO LTD-A	78	78	78	1,608	ソフトウェア・サービス
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	38	68	1,249	25,543	資本財
SG MICRO CORP-A	77	79	647	13,245	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	1,518	1,654	7,052	144,159
	銘柄数<比率>	10	10	—	<35.4%>
合計	株数・金額	6,095	5,792	—	392,657
	銘柄数<比率>	28	27	—	<96.4%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年10月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 392,657	% 96.4
コール・ローン等、その他	14,794	3.6
投資信託財産総額	407,451	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(404,323千円)の投資信託財産総額(407,451千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=149.96円	1 香港ドル=19.17円	1 オフショア元=20.4401円
------------------	---------------	-------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年10月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	407,451,270 円
コール・ローン等	14,528,408
株式(評価額)	392,657,397
未収配当金	265,465
(B) 負債	1
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	407,451,269
元本	319,276,741
次期繰越損益金	88,174,528
(D) 受益権総口数	319,276,741口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,762円

<注記事項>

- ①期首元本額 329,410,193円
 期中追加設定元本額 4,706,761円
 期中一部解約元本額 14,840,213円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2762円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 チャイナ・イノベーション・オープン 319,276,741円

[お 知 ら せ]

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
 (2023年10月1日)

○損益の状況 (2023年4月21日～2023年10月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,406,504 円
受取配当金	3,254,180
受取利息	153,650
支払利息	△ 1,326
(B) 有価証券売買損益	△ 38,509,790
売買益	49,044,918
売買損	△ 87,554,708
(C) 保管費用等	△ 264,940
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 35,368,226
(E) 前期繰越損益金	126,648,150
(F) 追加信託差損益金	1,580,174
(G) 解約差損益金	△ 4,685,570
(H) 計(D+E+F+G)	88,174,528
次期繰越損益金(H)	88,174,528

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。